

「綱紀粛正と信頼回復を」

新市長に浜田純氏

大町前市長の辞職に伴う出直し市長選挙は、十二月十七日告示、同二十四日投票・開票の日程で行われ、浜田純氏（元助役五十六歳）が第十二代南国市長に当選しました。

新市長決まる

前市長、幹部職員の不祥事が発覚、逮捕という最悪の事態のあと、市長辞職を受けて実施された今回の市長選挙は、元南国市助役の浜田純氏（明



浜田 純市長（明月）

・昭和14年4月16日生まれ（56歳）
 ・任期 平成7年12月24日～平成11年12月23日
 土佐高校卒業。昭和36年南国市役所に入所。会計課長、財政課長などを歴任の後、昭和63年1月から平成3年12月まで助役を務める。

見）と会社役員長野恭二氏（堀ノ内）の新人二人によって争われました。

ともに「新しい南国市、市民の信頼を得られる市政を」と訴えての激しい選挙戦の結果、浜田氏が一〇二二二票、長野氏が四六七四票で、浜田氏が当選しました。

当日有権者数三万六千七百五十五人に対して、投票者は一万五千二百三十三人で投票率は四一・四四パーセント。



多くの市民に迎えられ、花束を受け取る浜田新市長

約六割の有権者が棄権するという、市発足以来の最低投票率となりました。このような結果に終わったのは、市民の諦めか、あるいは、不信感の表れか？いずれにしても低すぎる投票率を重く受け止めなければなりません。

信頼回復へ

決意を表明

十二月二十六日午前九時、初登庁した浜田新市長が庁舎玄関前に到着すると、大勢の市民や市職員が出迎えました。職員は四年前まで一緒に働いた顔が多く、女子職員から花束が贈呈されると、笑顔がこ

ぼれ、大きな拍手がわき上がりました。庁舎四階市長室の席に着いた浜田市長は「緊張する」と述べた後、「情報公開条例の制定、監査制度の強化、市民に開かれた入札制度の整備など課題は多い、身も心も引き締めて一日も早く取り掛かる」と話しました。

この後、さっそく庁役所大会議室に職員を集めて訓示を行いました。その中で「市長自身、絶対に不正にかかわらないという強い意思を持って、信頼回復に努める。職員も同じ気持ちで職務に取り組み、欲しい」と、強い調子で語り、その決意を明らかにしました。また、新しい体制では、助役を一人制にし行政効率の向上を図ると共に、市役所内部のチェック機能を強化するなど

市長選挙の結果

当 浜田 純（無所属 明見 56歳）
 一〇二二二 票
 長野恭二（無所属 堀ノ内 46歳）
 四六七四 票
 当日有権者数 三万六千七百五十五人
 投票者数 一万五千二百三十三人
 有効投票 一万四千八百八十六票
 無効投票 三百四十七票
 投票率 四一・四四%

私費をなげうち支援活動

比日系人への支援で高新大賞

土居潤一郎さん（十市）



たそうです。しかし、昭和四十九年、戦友の遺骨収集を目的に再訪問し、以来戦争に対する心の痛みから毎年のように慰霊のため島を訪問するようになり、現地の人々と交流を続けてきました。今では、現地に家を持つほど

十市にお住まいの土居潤一郎さん（七十五歳）が、高新大賞を受賞されました。高新大賞は地域の文化や福祉などに貢献した団体や個人に対し、顕著な功績をたたえ、高知新聞厚生文化事業団より贈られるもので、土居さんは、フィリピンの日系人に対する支援活動が認められました。

土居さんがフィリピンを最初に訪問したのは、戦争中のこと、ネグロス島で終戦を迎えましたが、二度とこの島へは来ないとの決意で、帰国し

深く関わっています。その間、日系人の存在を知り、「敵国の子」と迫害され、現在でも貧困にあえいでいるという境遇を目の当たりにした土居さん、昭和六十二年から私費をつぎ込んで、日系人への支援活動を行うようになりました。

現地に日本語学校を建てたり、飢えに苦しんでいる人に食事を与えるなどの補助を続けており「お腹いっぱい食べさせてあげたい」が口癖です。昨年末、外務省は一人の

日系人がフィリピンに住んでいると発表しました。「日系人の支援を今後も続けたい。私のライフワークです」という土居さん、副賞の百万円はもちろん現世日系人のために使うとのこと。これまでの皆さんの寄付、援助に感謝すると共に、今後も協力をお願いしたいということです。土居さんの住居がある現地バコロド市は、キャベツ、たまねぎ、白菜、ニンジンなどの野菜や、ニロギ、キスゴ、エビ、サワラなどおいしい魚や食べ物が多く採れ、家のまわりには、パイナップルがいつでも住みやすい所とのこと。今年もまた、ネグロス島に渡るそうです。



新教育長に西森善郎氏

～教育委員会の新体制～

一月十六日に開かれた臨時市議会で、一月十五日付けで任期満了となった国沢守道氏、森賢啓氏（教育長）、高島田孝一氏（教育委員長）に代わり、岩原信守氏、速瀬愛子氏、西森善郎氏が新たに教育委員会委員に任命されました。また、同十七日開かれた市教育委員会教育委員五人の互選によって西森善郎氏が教育長に（市教育委員会の推薦により県教育委員会が承認）、速瀬愛子氏が教育委員長に決定しました。

西森善郎教育長



昭和九年一月二十九日生まれ
 任期 平成八年一月十六日？
 平成十二年一月十五日
 法政大学卒業、昭和三十二年に仁淀村立泉川小学校で教壇に立つ。平成六年三月、大

藤小学校長を最後に退職。同四月から南国市教育研究所長を務める。

速瀬愛子教育委員長

昭和七年五月二十五日生まれ
 任期 平成八年一月十六日？
 平成十二年一月十五日
 同志社女子大卒業、昭和十九年に香南中で教壇に立つ。中学校、県教育センターなどで勤務。平成五年から現在も県文化財団文学館開設準備室学芸専門員として活動中。

業者との宴会は欠席

入札制度の見直し実施



建設の進む高知自動車道

十二月定例市議会の一般質問が、十二月十二日から三日間行われました。市長不在で行われた今議会は、市総合計画などの議案が先送りされたこともあって、一般質問も一連の不祥事や当面の課題にしぼって、小沢、澤田、竹内、福田、山本、土居、中村、山崎、井上各議員が助役ら市執行部の姿勢を問いました。主な内容箇次の通りです。

今後、チェンク機体の整備などの具体策を検討しなくてはなりません。また、この問題の調査の結果、結果は、担当課職員からの事情聴取などを行い、関係書類が司法の手の中に入り、調査を進めるのが困難な状態で、現在のところ把握が完全できていません。今後、司直の調査結果、経緯を見ながら検討していこうと考えています。

入札制度について
業者選定、契約審議会のあり方も今後検討していくべき課題となります。ゼネコン疑惑により公共事業の発注のあり方が問われた平成五年に、契約審議会を開き検討委員会を設置、指名業者数を増やすと共に工事の金額により指名業者数を決定するようになりました。六年には制限付きですが、一般競争入札を行いました。

平成八年度からランク付け、指名基準の策定、指名基準の運用基準の策定を実施すべく準備を進めています。同様の状況も見ながら、入札制度の見直しを検討します。

高速道路関連の工事では、農林関連工事も含めて、建設課の担当とした理由は、工事を円滑に進めていくため、道路公園、県、市、地元との協議により進めてきた経過があります。昭和六十三年の設計協議前の地元を含めた説明会で、地元から市の窓口を一本化して欲しいとの意見が強くあり、その意向に添い、事業推進の円滑化のため建設課を窓口としました。

同和行政について
昭和四十四年の同和対策事業特別措置法の制定以来、当市でも市民的課題として二十数年間にわたって市議会、地元の関係者などの努力、また、市民の理解により、生活環境の改善は大きく改善を見ました。

平成十四年実施の団体に
向け、十二年に団体本部の下見、十三年にはリハールがありこれに対応できるように整備します。八年度予算で実施計画費を計上し、平成九年、十年と実施計画を行います。サッカー場は一年遅れで九年度に実施設計を行い、十年、十一年で施設建設を行います。

子供の命が失われて
いる深刻な問題です。学校現場では、機会があることに校長会でこの問題について話し合い、きめ細かい指導ができるよう常に研究しています。また、学校、家庭において望ましい教育環境をつくることに努めるとともに、子供からのどのような小さなシグナルも見落とすことのないよう取り組んでいます。

学校設立での取り組みと
合わせ、日ごろから学校担任を中心として子供たちの生活実態を把握し、職員会などを通じて全教員が状況を把握、指導していくなどの方法をとります。

中山間地域の活性化につ
いて
中山間基盤整備計画を二年度中に作るべく、関係機関職員共々地元に入って話し合いを進めているところです。黒滝、桑ノ川でも十一月十四日に地元の人と膝を交えて、これからのことについて話し合いました。

農協の支所などへの重機の
配置により、自力での小規模な基盤整備を促すなど、今後検討協議してまいります。ほ場整備については、

中山間基盤整備計画を二
年度中に作るべく、関係機関職員共々地元に入って話し合
いを進めているところです。

中山間地域の活性化につ
いて
中山間基盤整備計画を二年度中に作るべく、関係機関職員共々地元に入って話し合

いを進めているところです。

黒滝、桑ノ川でも十一月十四日に地元の人と膝を交えて、これからのことについて話し合

いしました。

農協の支所などへの重機の配置により、自力での小規模な基盤整備を促すなど、今後検討協議してまいります。

ほ場整備については、

中山間基盤整備計画を二年度中に作るべく、関係機関職員共々地元に入って話し合

いを進めているところです。

黒滝、桑ノ川でも十一月十四日に地元の人と膝を交えて、これからのことについて話し合

今後の課題として、心理的差別、基本的人権の問題に対する啓発と教育、また、就労問題、周辺の産業の育成などがあり、市民、行政が一体となり取り組むよう努力します。

健康文化都市づくりは「優3ゆめ1 健康づくりはか・ん・た・ん」を合言葉に健康づくりに取り組んでいます。より一層、健康文化都市が浸透するように、南国市の現状や歴史、文化などについて学び、健康文化都市づくり推進協議会で検討し、各区の同推進委員会で活動計画に取り入れてもらうためのプランナーを、市民、行政職員から募集し、共に健康文化都市づくりの認識を市全体に広



健康文化都市推進プランナー養成講座

げることに取り組んでいきます。この計画は平成五年度に高齢者の調査を行い、主として在宅を介護老人を対象として実施されています。在宅での中心施策はホームヘルプ、デイサービス、ショートステイの各事業です。ホームヘルプ事業は現在、約八十七人を

対象に実施、デイサービス事業は一か所で、約三百人が通所しています。また、ショートステイ事業は七年度で五十二人が入所しています。来年度には平成七年に行われた国勢調査の結果をもとに計画の見直しが行われ、平成九年度より実施が予定されています。

図書館建設はどうなっているか
後免町再開発事業の中で、の公共事業内施設と位置付けており、市民の憩う市民センター、展示ホールなども兼ねた充実した図書館建設を計画しています。このような位置付け、方向性は決まっているものの、年次については具体的に決まっていないので、こ

から建設に向け取り組んでいかねばなりません。

中山間地域の活性化について
中山間基盤整備計画を二年度中に作るべく、関係機関職員共々地元に入って話し合

いを進めているところです。

黒滝、桑ノ川でも十一月十四日に地元の人と膝を交えて、これからのことについて話し合

可決された主な議案

■政治倫理確立のための南国市長の資産等の公開に関する条例
市長は所得、預・貯金額、所有の土地、建物、有価証券などの資産等報告書を作成し、閲覧の請求により公開する。

■南国市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
災害復旧などのため、他の地方公共団体などから派遣された職員に支給する、災害派遣手当の制定など。

■南国市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
新たに、刑事事件に関する退職手当の返納に関する規定を設ける。

■南国市職員定数条例の一部を改正する条例
市民生活の安全確保のため、消防・防災ヘリコプターを導入し、防災対策を充実強化するため1人増員する。

平成7年度一般会計補正予算
補正予算2億1,297万円のうち、前市長の退職金額1,770万円を修正減額(累計 200億2,209万円)
主なものは、高瀬対策事業費600万円、香長・蕨ヶ池中学校屋内運動場増改築など4億1,018万円、市長選挙費418万円、都市計画道路高知・南国線整備事業費1億円。

平成8年の農作業料金

この料金は、南国農業機械銀行推進協議会（農業委員会、機械銀行、各農協、委託者代表、農業改良普及センターで構成）で協議され、決定したものです。この料金は平地の10a当たりの矩形の田を基礎としていますので、細かい条件については受委託者間で協議してください。

なお、作業の困難な条件の場合、オペレーターと相談の上、作業受託をお断りする場合があります。水田の水管理には十分注意してください。【農林課】



作業の種類	料金(円)	作業の内容と条件など
水田整地Ⅰ	17,000	2回仕上げ 1回目 タテのみ1回 2回目 タテ、ヨコ1回(ヨコで仕上げ) 基本料金は15,000円とし、1枚ごとに2,000円を加算する
水田整地Ⅱ	19,000	3回仕上げ 1回目 タテのみ1回 2回目 中だけ 3回目 ヨコ(ヨコで仕上げ) 基本料金は17,000円とし、1枚ごとに2,000円を加算する
水田整地Ⅲ(野菜跡立田)	21,000	3回仕上げ 1回目 乾田タテのみ1回 2回目 灌水タテ1回 3回目 ヨコ(ヨコで仕上げ) 基本料金は19,000円とし、1枚ごとに2,000円を加算する
水田整地Ⅳ(肥料作業跡立田)	23,000	3回仕上げ 水田整地Ⅲの1回目低減 基本料金は21,000円とし、1枚ごとに2,000円を加算する
又 肥 施 用	2,400増	水田整地Ⅰ～Ⅳに又肥施用が付随する場合の加算料金(10a当たり)
大豆田の整地	11,500	タテ、ヨコ1回ロータリー耕後、2回ごとに畝立て 基本料金は9,500円とし、1枚ごとに2,000円を加算する
そば田の整地	11,500	タテ1回ロータリー耕後、は種してヨコを軽くたたき3mごとに溝を切る(は種は委託者) 基本料金は9,500円とし、1枚ごとに2,000円を加算する
冬季水田耕起Ⅰ	8,000	タテ1回 基本料金は6,000円とし、1枚ごとに2,000円を加算する
冬季水田耕起Ⅱ	10,000	タテ、ヨコ1回 基本料金は8,000円とし、1枚ごとに2,000円を加算する
冬季水田耕起Ⅲ	12,000	タテ1回、冬季水田耕起Ⅰの低減、休耕田など 基本料金は10,000円とし、1枚ごとに2,000円を加算する
冬季水田耕起Ⅳ	20,000	タテ1回、基盤整備直後農耕料金(10a当たり)
深 耕	4,400増	冬季水田耕起Ⅰの行程で深耕する場合の加算料金(1枚ごとに加算)
タイムカル施用	2,400増	冬季水田耕起Ⅰ～Ⅳにタイムカル施用が付随する場合の加算料金(10a当たり)
代かきのみⅠ	8,000	ヨコ1回 基本料金は6,000円とし、1枚ごとに2,000円を加算する
代かきのみⅡ	10,000	タテ、ヨコ2回 基本料金は8,000円とし、1枚ごとに2,000円を加算する
田 概 え	9,000	基本料金は8,500円とし、1枚ごとに500円を加算する。4隅概えを含む。たばこ跡、番田等条件の悪い田は話し合いで30%以内の加算をする(苗代金は含まない)
保条施肥田概え	12,000	基本料金は11,500円とし、1枚ごとに500円を加算する。4隅概えを含む。たばこ跡、番田等条件の悪い田は話し合いで30%以内の加算をする(苗代金は含まない)
コンバイン作業(早稲・中稲)	24,000	基本料金は20,000円とし、1枚ごとに4,000円を加算する 番田、有伏田などは話し合いで基本料金の100%以内で加算する
コンバイン作業(籾 籾 籾)	19,000	基本料金は16,000円とし、1枚ごとに3,000円を加算する 番田、有伏田などは話し合いで基本料金の100%以内で加算する
乾 葉 (うるも)	1,000	1俵当たり1,000円とする。最低8俵で計算する。ただし、高水分の場合は話し合いで加算する
乾 葉 (もち)	1,200	1俵当たり1,200円とする。最低8俵で計算する。ただし、高水分の場合は話し合いで加算する
籾 脱 (早稲・中稲)	11,000	平地の場合であり、その他の条件の場合は別途協議決定する
籾 脱 (籾 籾 籾)	7,000	クワ積み以外の場合はコンバイン作業に準じて両者協議決定する
初 干 り	700	1俵当たり700円とする。出張額すりの場合は1俵につき100円増しとする。二重口は1袋につき100円とする
生 乾 運 搬 (早稲・中稲)	4,000	軽四が後付けできる田、田舎出す田は3,000円以内で加算する
	2,500 (葉作期)	
薬 劑 散 布	1,500	粉剤料金(10a当たり)
	1,200	粒剤料金(10a当たり)
	5,000	液剤防除料金(10a当たり)
	2,800	無人ヘリコプター防除料金(10a当たり) 地区道反2ha以上が原則
水田地ならし	3,500	1時間当たり
育苗(赤土)	800+100	硬化苗1箱当たり(運搬は100円とする)
育苗(粒状培土)	850+100	硬化苗1箱当たり(運搬は100円とする)
玄米運搬	100	10a当たり8俵、1袋当たり

南国市の



家計簿

市の財政がどのように運営されているかを市民の皆さんに知っていただくため、財政事情を公表します。

平成6年度の南国市普通会計の決算状況は、歳入が百九十六億七千三百万円、歳出は百九十五億七百万円となっています。

普通会計とは、一般会計、住宅新築資金等貸付事業特別会計、土地取得事業特別会計の合計額より、繰り入れ、繰り出しなどの重複額を控除した決算額をいいます。

市の収入は

総額 196億7,300万円

歳入の内訳

市 税	44億5,800万円
国庫支出金	29億8,500万円
地方交付税	46億4,000万円
市 債	44億0,000万円
県支出金	9億4,000万円
その他	22億5,000万円

このように使われました

総額 195億 700万円

歳出の内訳

総務費	21億3,600万円
市庁舎の維持管理・広報紙の発行・選挙費など	
民生費	48億4,300万円
社会福祉費・保育所管理運営費・生活保護費など	
土木費	35億2,000万円
高速道関連整備、市道管理費、河川改修費など	
農林水産業費	7億8,600万円
林業や水産業の振興費・一般の農業振興費・土地改良総合整備費など	
教育費	14億8,000万円
小・中学校維持管理、改造費など	
衛生費	30億8,300万円
公債費	23億5,600万円
消防費	5億5,500万円
その他	7億4,800万円

市民の税の負担は?

1人あたり	92,848円
固定資産税	47,325円
市民税	39,386円
たばこ税	4,144円
軽自動車税等	1,993円
1世帯あたり	250,672円
固定資産税	127,769円
市民税	106,332円
たばこ税	11,189円
軽自動車税等	5,382円 (増徴は四捨五入)



南国市の人口・世帯数(平成7年3月31現在)
48,016人 17,785世帯